

ポンプ場の遠隔巡視に向けて実証試験を行います！ ～将来の担い手不足を見据えドローンとIoTセンサで巡視点検を効率化～

水道事業体
初の試み！

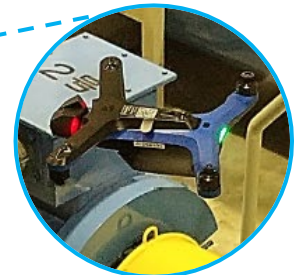
水道局では、24時間365日安全で良質な水を安定的に送り届けるため、配水ポンプ場（市内23箇所）の巡視点検を1か月に1回実施し、設備の健全性を確認しています。

この巡視点検では、ポンプ設備に異常がないかを職員が判断していますが、豊富なノウハウを持つベテラン職員の退職が控えており、従来の維持管理手法の継続は困難になることが想定されます。

そこで、ICTを活用したポンプ設備の維持管理手法の確立に向け、水道事業体初の試みとして、ドローンとIoTセンサを組み合わせた遠隔巡視の実証試験を、仏向（ぶっこう）ポンプ場（保土ケ谷区）で実施します。

【実証試験の内容】

ポンプ場内をドローンが自動飛行により巡回し、狭所での飛行可否や、ドローンが撮影した映像を執務室から確認できるか検証します。また、ポンプと電動機にIoTセンサを取り付け、定期的に自動計測した振動データ等を執務室から確認するとともに、振動データから、ポンプの劣化兆候が判断できるか検証します。



ドローン

協力事業者：NTTコミュニケーションズ株式会社



IoTセンサ

協力事業者：株式会社西島製作所（左）

コネクシオ株式会社（右）

図1：仏向ポンプ場での実証試験の様子

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



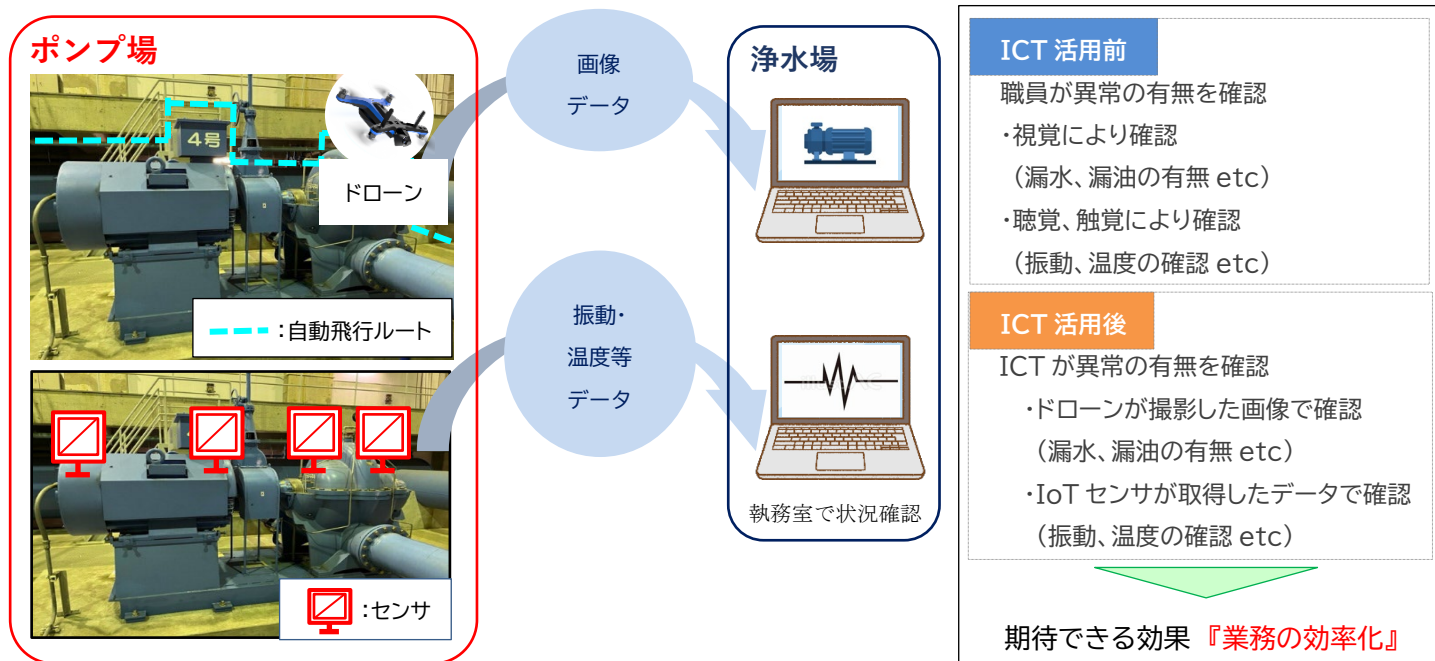


図2:遠隔巡視のイメージ

【今後の展開】

本実証試験は、令和7年3月まで実施する予定です。遠隔巡視の有効性が確認できた場合は、市内の配水ポンプ場 23 箇所にドローンとセンサを順次導入し、ICT を活用した効率的なポンプ設備の維持管理を進めていきます。

【仏向ポンプ場の概要】

- 所在地：横浜市保土ヶ谷区仏向西 21 番 1 号
- ポンプ台数：5 台
- 主な給水エリア：保土ヶ谷区、旭区の一部
- 一日平均配水量：約 20,000m³／日

お問合せ先

【実証試験に関すること】 水道局浄水課長 羽布津 慎一 Tel 045-671-3423

【仏向ポンプ場に関すること】 水道局西谷浄水場長 木下 昌也 Tel 045-371-5335



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

